

昭和62年度

広域北部地区埋蔵文化財発掘調査概報

(灰の久保遺跡)

昭和63年3月

有明町教育委員会

広域北部地区埋蔵文化財発掘調査概報

(灰の久保遺跡)

昭和63年3月

有明町教育委員会

序 文

有明町灰の久保遺跡は、有明海に面し、島原市に隣接する三之沢名にあり、現在の海岸線より4 km位の山手にあり、標高90m～100mに及ぶところに位置する。

当地域は、古くから人参、牛蒡の産地として有名であるが、連作障害等のため、現在では、野菜・果実類の畑としても活用されている。

この度、長崎県の企画による広域農道の本年度工事予定地となっていたので、発掘調査した。

調査に当っては、各関係官庁の御指導と御援助を賜わると共に、古田先生をはじめ、多くの方々の御協力により調査が完了し、報告書の完成をみる事が出来たのは、誠に喜ばしいことである。

遺跡調査に関係された方々の御苦勞と御熱意に深く感謝し、この報告書が後世に保存活用されることを切望し、お礼の言葉としたい。

昭和63年3月

有明町教育長

伊 藤 政 俊

例 言

本調査は、昨62年12月1日から本年2月までの間実施したのであるが、この期間は一年中で最も寒い時で、調査中労務を担当された宮本次人、早稲田あい子、菅マキヲ、松本キヲ、松本キミエ、森田涼、寺田啓子、松本一人、森崎ムメ子、平山キヨ、山中理一、松本あけみ、吉本ひとみ、菅シゲヨ、杉本登、杉本ハルエの各氏には筆舌では言いつくせない苦勞をわずらわし、その労苦に対し改めて感謝の意を表したい。

また旧地主の酒井栄八、杉本惣吉、本多勝と毎日の出土物、用具の保管を依頼した岡内政人の各氏には側面的な協力を賜わり、国見高校諫見富士郎氏には調査の参加を依頼、又、有明町教育委員会の本多龍也、出田文子の両氏にも毎日の運送を煩わせた。以上本調査の進行に当っては多くの方々に御協力と支援を給わり、無事調査を終了するに当たり、ここに感謝の意を表します。

昭和63年3月

古 田 正 隆

目 次

1. 調査地の概要（第1図 発掘調査地点図）	1
2. 各トレンチの状況（附図1～10参照）	1
3. 出土遺物（遺物実測図，遺物写真図参照）	2
4. 遺構（第2図，第3図，写真図11，12，13）	2
5. ま と め	3
6. 将来の遺跡文化究明上の問題点	3

挿図目次

第1図 発掘調査地点図（A～D地点）	1
第2図 B地点6トレンチ6，7の遺構実測図	2
第3図 B地点7トレンチ3の遺構実測図	3

附図目次

1. A地点トレンチ設定図	5
2. B，C地点トレンチ設定図	6
3. D地点トレンチ設定図	7
4. 断面実測図（1T-1～1T-7）	8
5. // （2T-1～3T-3）	8
6. // （1T-3～3T-7）	9
7. // （4T-1～5T-7）	10
8. // （5T-9～7T-5）	11
9. // （8T-11～8T-19）	12
10. // （6T-1～8T-9）	13

遺物実測図目次

1. 遺物実測図（石器，鉄器）	14
2. // （石器）	15
3. // （土器）	16

写真附図目次

1.	調査地風景写真図	17
2.	各トレンチ断面地層写真図 (1 T-1 ~ 2 T-3)	18
3.	〃 (2 T-7 ~ 3 T-9)	19
4.	〃 (4 T-1 ~ 4 T-11)	20
5.	〃 (6 T-7 ~ 8 T-13)	21
6.	〃 (8 T-20 ~ 9 T-9)	22
7.	〃 (6 T-1 ~ 6 T-4)	23
8.	〃 (6 T-7 ~ 6 T-11)	24
9.	〃 (8 T-1 ~ 8 T-7)	25
10.	〃 (8 T-11 ~ 8 T-19)	26
11.	6 トレンチ 7 の住居跡遺構写真図	27
12.	7 トレンチ 3 の遺構写真図	28
13.	8 トレンチ 11 の遺構写真図	28
14.	遺物写真図	29

広域農道布設に伴う発掘調査概報

古田 正隆



第1図 発掘調査地点図 (A～D地点)

1. 調査地の概要 (第1図発掘調査地点図)

本調査は昨62年に実施した^{※1}広域農道布設予定地調査の続きであり、旧調査地の東北方に当る畑地の(第1図参照)図に示したA～D地点で、幅約13メートル、長さ約150メートルの地域である。

この地域を畑地に依りA～Dの地点に区分し、A地点では1トレンチから3トレンチを、B地点では6トレンチ、7トレンチを、C地点では8トレンチ、9トレンチを、D地点では4トレンチ、5トレンチをそれぞれ設定した。(トレンチ設定図1～3参照)

以上各トレンチの地層は、断面地層実測図4～10に示す如くであるが、前回も述べたように^{※2}、この地は従来牛蒡の生産地として顕名であり、近年ではトレンチャーに依る牛蒡の発掘収穫が実施され、深さ約1.2メートル位までは攪乱がひどく、一応土層は土色によって区分け出来るとはいえ、写真図(各トレンチ断面地層写真図5, 6, 8, 9, 10参照)で見ると、遺物はごく小片化し、遺構は破壊され、近世～現代物の陶器片、磁器片が深く混りこみ、地中の文化層は残らず見るべきものがない。(このことは有明町内各調査で共通した事情である)

2. 各トレンチの状況 (附図1～10参照)

各トレンチの地層は、地色からみて1層は黒色耕土、2層は黒色土、3層は黒褐色土、

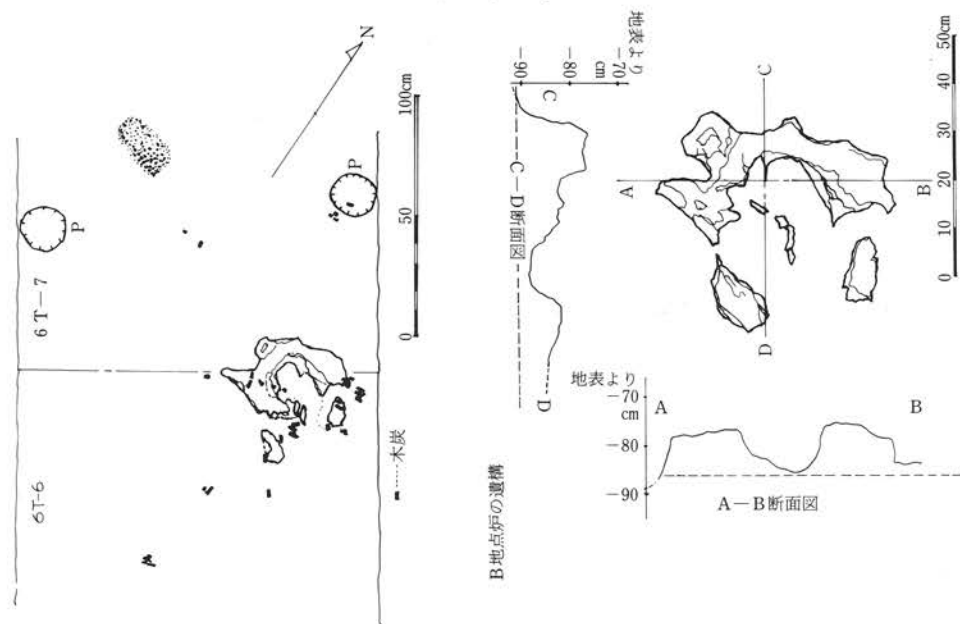
4層は黒色火山灰土的土質であるが、火山灰土に小礫の混入をみる地層であり、土地の人々はこれを椶の実層と呼んでいる(B地区の7TとC地区の8T-1~8T-19内)。その下は粘土層となり、然しこの地層は従来の地層色と地層攪乱による形成色で、文化層とは全く無関係なものであることは述べたとおりである。従って地中の遺構自体文化年代を決める確実な資料は全く把握出来なかった。

A地点、B、C地点、D地点と旧地主は三人であり、旧地主によって地中の攪乱状況はそれぞれ異なり、従来の牛蒡植付の頻度状況によるものであるようである。(写真附図各トレンチ断面写真図参照)

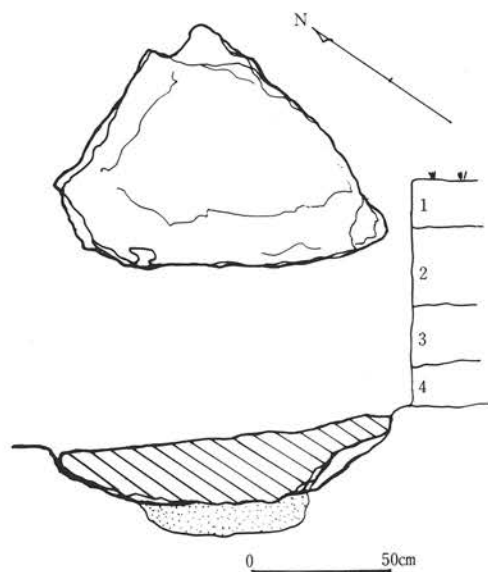
3. 出土遺物 (遺物実測図, 遺物写真図参照)

出土遺物の主なものは黒色研磨土器片1, 縄文晩期の土器片2, 土師器片8, 須恵器片5, 打製石斧1の計17点の細片は略々文化年代を知り得るものの、陶器片980点, 磁器片320点も地層と関係なく文化年代の古い遺物と混合して出土し、且つこれらの遺物はトレンチャーの刃によって細片化され、遺跡破壊はその極に達していたとみるべきであり、前の報告書^(註1)でも各関係機関に対し善処を要望したとおりである。然し、各農家自体において連作障害のため、現在大部分が牛蒡の栽培を中止しているほか、別段の対策は立てられていない。

4. 遺構 (第2図, 第3図, 写真図11, 12, 13)



第2図 B地点6トレンチ6, 7の遺構実測図



第3図 B地点7トレンチ3の遺構実測図

遺構とみられるものは6トレンチ6, 7にみられた炉や柱穴とみられるピットを伴った住居跡とみられる遺構(第2図)と, その東方5メートルの, 7トレンチ3の石蓋を伴った土壌墓とみられるもの(第3図)が発見された^{#3}。その他, 8トレンチ11でも不明の土壌が発見された。(8トレンチ11の遺構写真図13参照) 然してこの土壌は攪乱層の中にまで残り, 立木の腐敗痕か土壌か, その他の遺構か不明であった。(周辺には小形土壌形の落ち込みが5~6ヶ所見うけられた。)

5. ま と め

この調査地は, 旧地形図によれば標高100メートル前後の高さにあり, 現在では各畑毎に平面化され, いずれも100メートル足らずの高さで, 従来緩い傾斜地であったものが平面化され地表面の変化はあったといえ, 古い文化層に影響を与える程のものではなく, 地層攪乱の原因は牛蒡収穫のトレンチャーであり, この地下現象はここに限定された訳でなく, 有明町の畑地にみる共通現象である^{#4}。

6. 将来の遺跡文化究明上の問題点

遺物の中に造礁珊瑚片1点があった。このことについては注1の前報でも述べたが, 灰の久保遺跡台地の古代住民は, 生活が海との関係において成り立つ生活文化か, 精神文化をもっていたことを示している。これは貝の信仰にも関係をもち^{#5}, 近くは天草島の古代埋葬形態と^{#6}類形文化にあったものであろう。

従って将来この附近において, 地層攪乱のない遺跡地で類似遺物の文化を確認し, この地遺跡出土の遺物の断片と照合して, 遺跡の性格を知り, ひいては周辺遺跡文化の位置づけをしなければならないだろう。

注目すべき遺物として鉄滓4点, 鉄片28点が出土している。製鉄との関係も将来に残された問題であろう。土錘の多数出土は前回同様この地生活の, 弥生文化期から古墳文化期住民の性格や文化を究明するうえにおいて重要な資料というべきであろう。

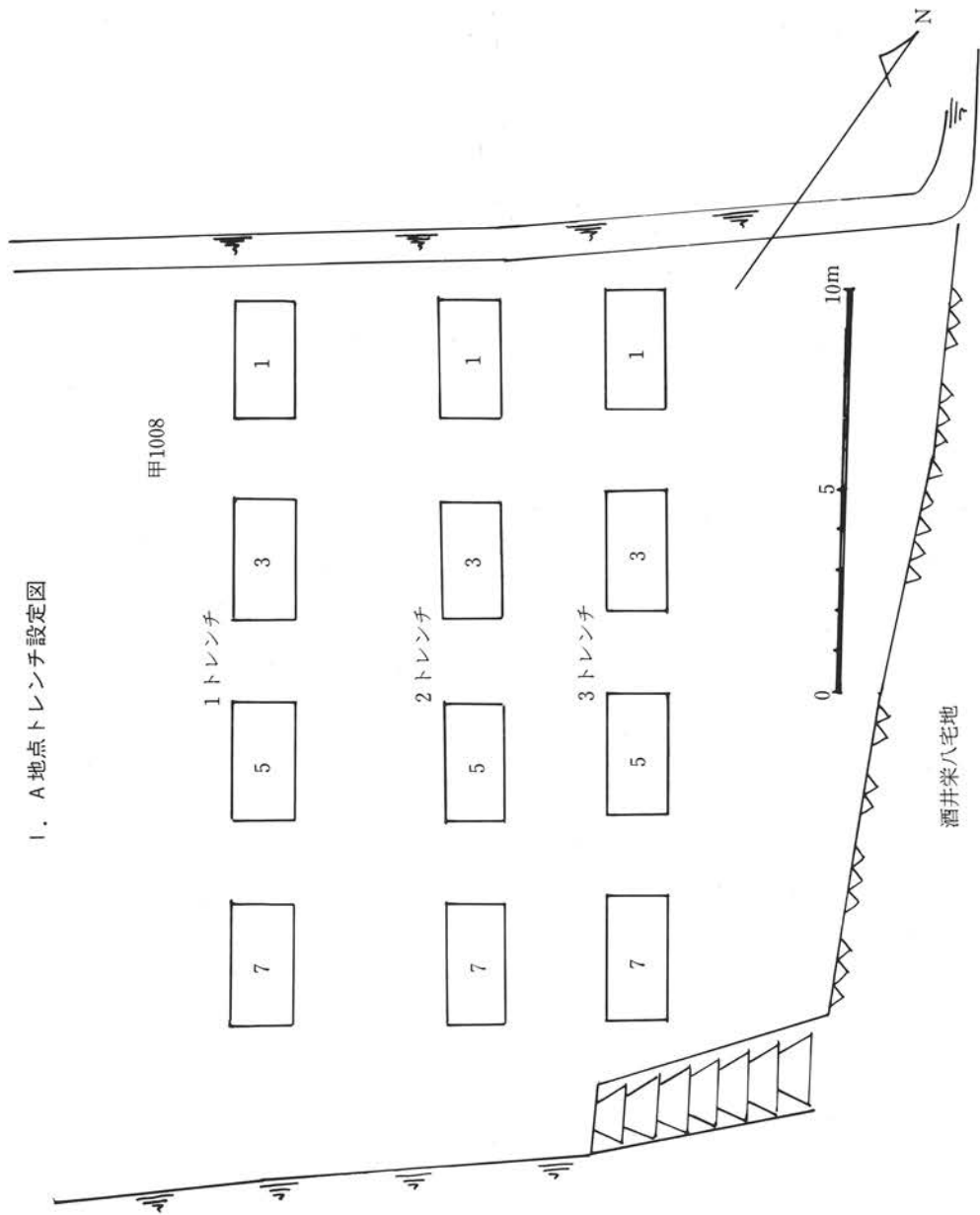
この地の西方約40メートルの地点では, 前回の調査において縄文文化早期の押型文土器

が出土した。然るに今回はこの文化と平行する遺物は一点もみることがなかった。これは当時の人々の生活上の土地利用の条件によるものか、或いは火山爆発という自然現象によるものか、興味ある将来の研究問題であろう。

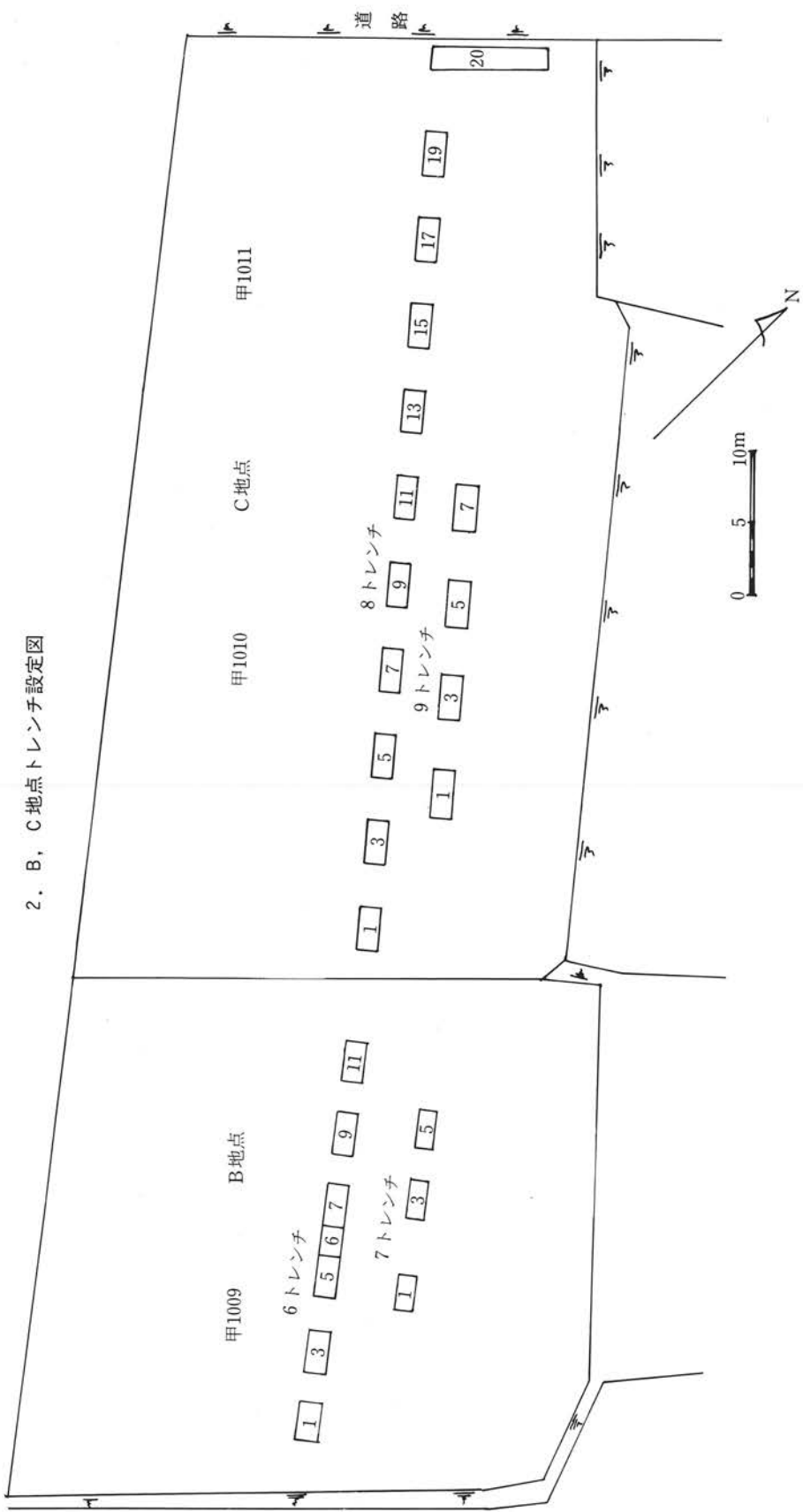
注 解

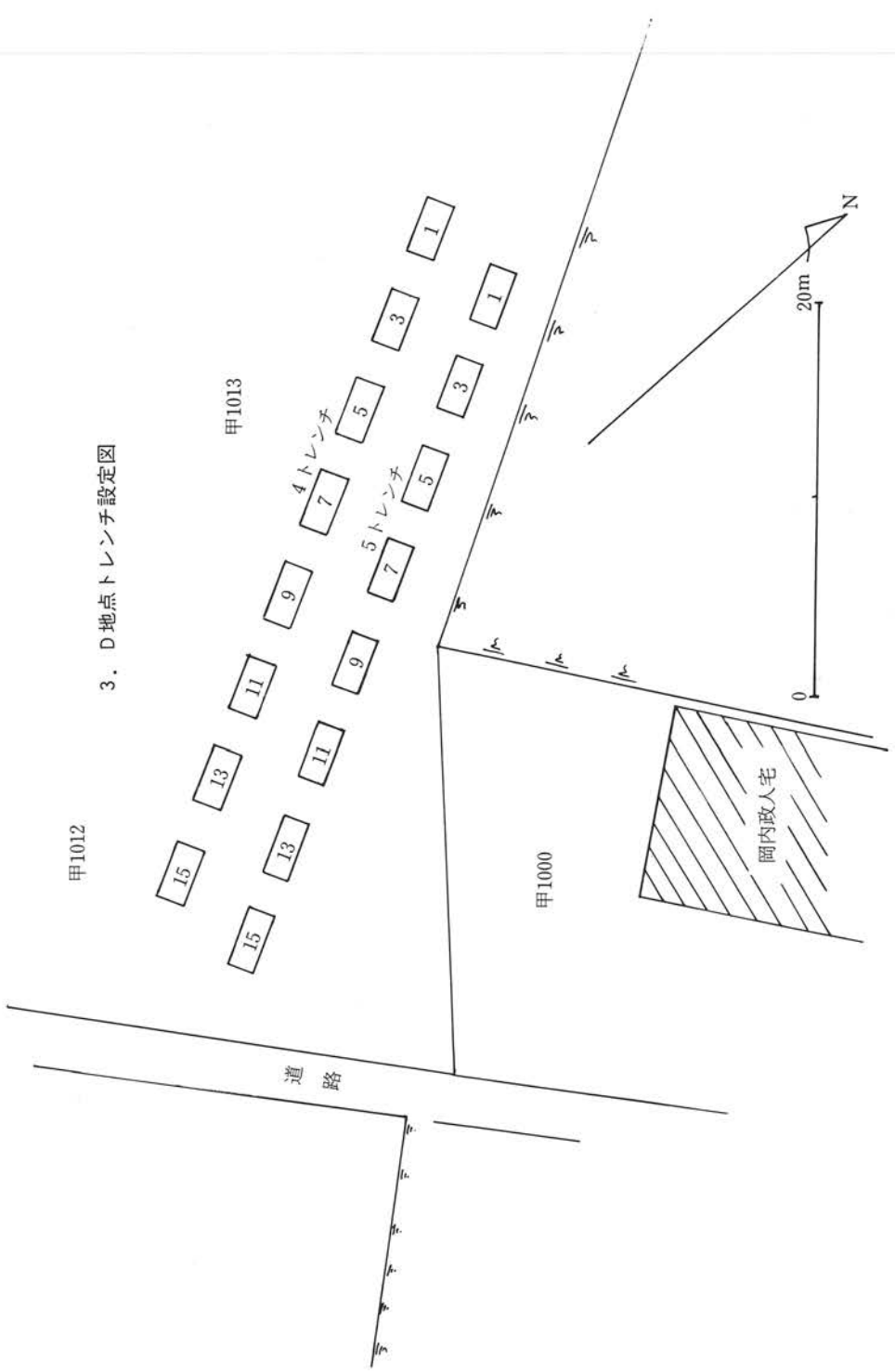
1. 古田「灰の久保遺跡調査速報」, 有明町教育委員会埋蔵文化財調査報告書第7号, 昭和62年8月。
2. 前出1。
3. 古田「有明町の支石墓」, 有明町史上巻, 有明町昭和62年3月31日刊, P152附図4参照。
4. 古田「宅地造成に伴う中田遺跡調査報告」, 有明町文化財調査報告書第1集, 昭和59年1月。古田「大野原遺跡の一部地目変更に伴う研究調査報告」, 有明町教育委員会埋蔵文化財調査報告書第6集, 昭和61年6月30日。古田「松崎, 山ノ内線農道拡幅工事に伴う調査概報」, 有明町教委報8, 昭和62年11月30日。
5. 古田「貝の信仰」, 島原風土記3号, 昭和61年。三島格「サンゴと貝」, 南島考古第5号, 1977—12。長崎県教委「有明町松尾遺跡緊急発掘調査の結果について」, 53教文第180, 昭和53年9月28日。古田「筏遺跡発掘調査報告」, 国見高校, 国見町共刊, 昭和44年3月。古田, 諫見富士郎「続筏遺跡」, 昭和51年3月, 百人委員会埋文報6。
6. 前出注5, 三島格「サンゴと貝」。

1. A地点トレンチ設定図



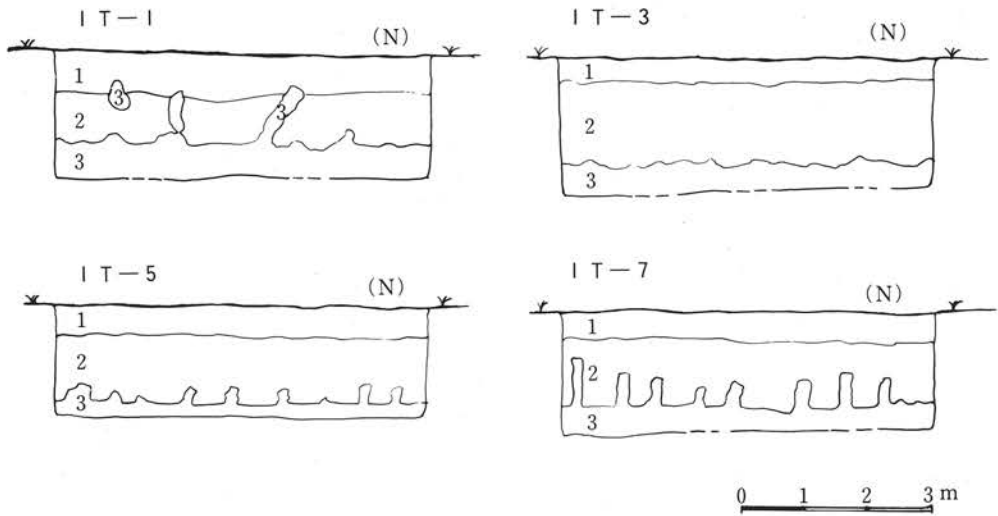
2. B, C地点トレンチ設定図



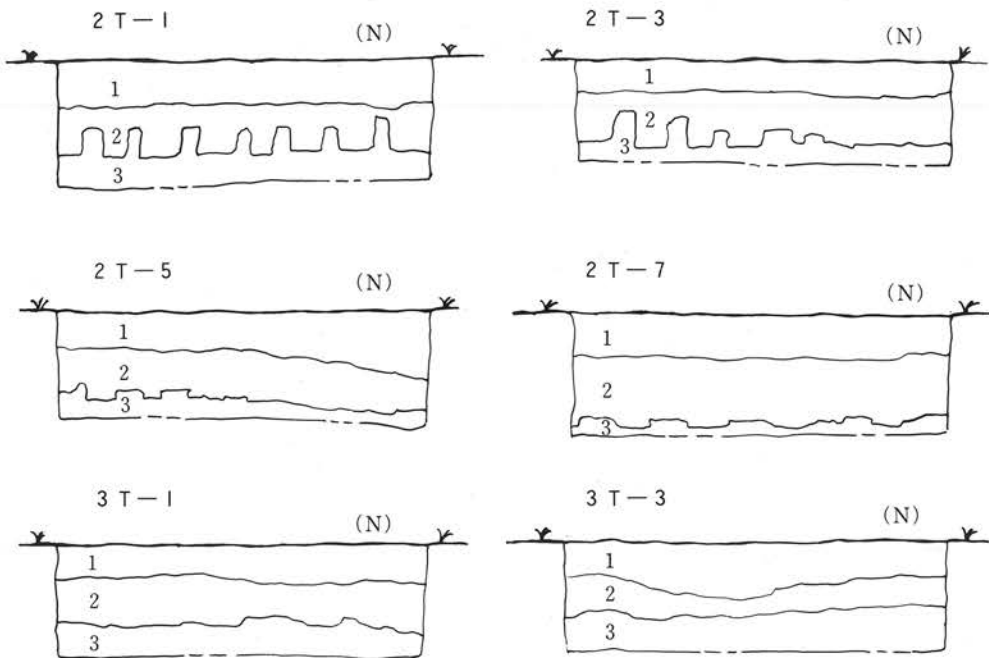


3. D地点トレンチ設定図

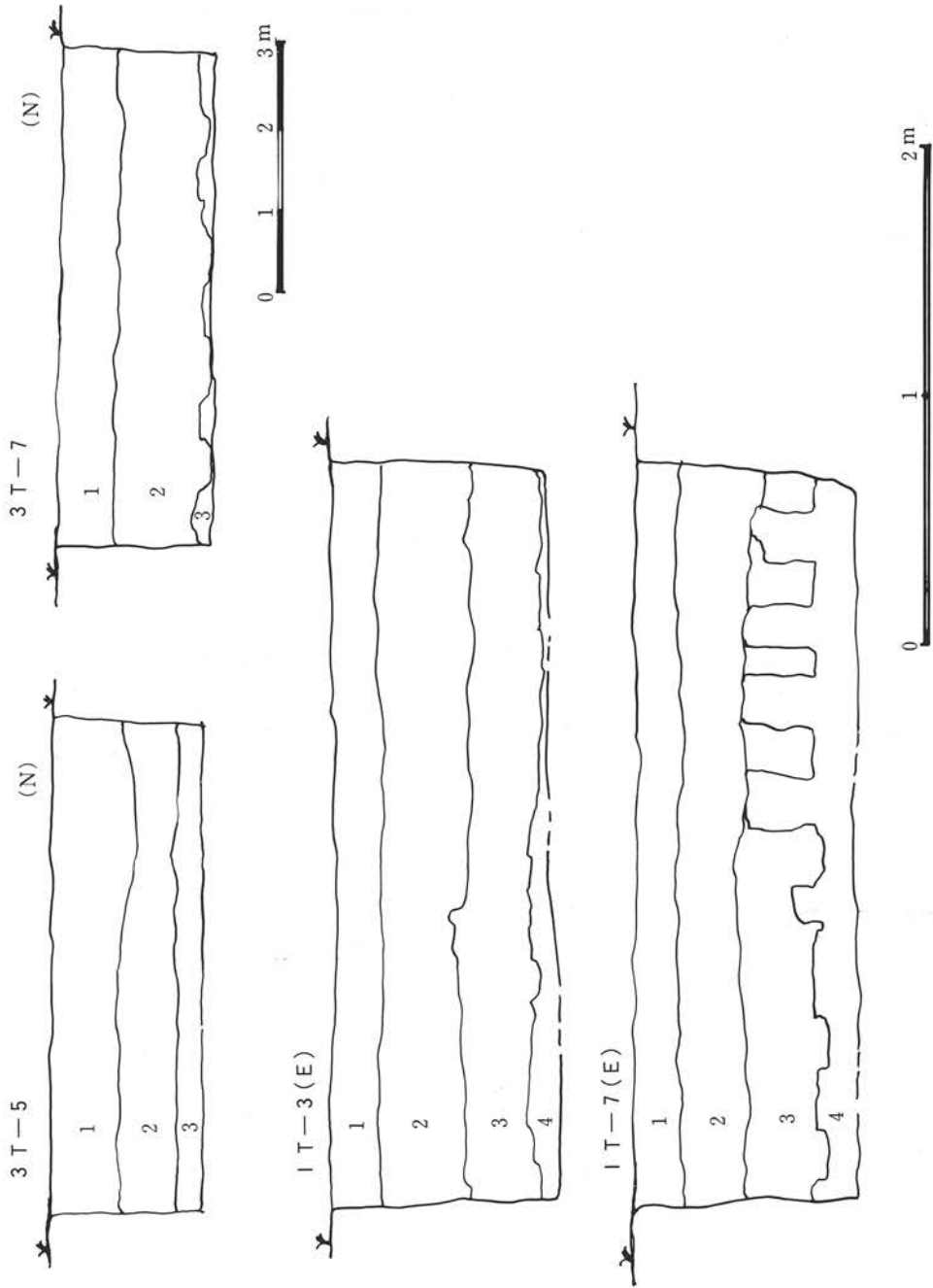
4. 断面实测图 (1T-1~1T-7)



5. 断面实测图 (2T-1~3T-3)

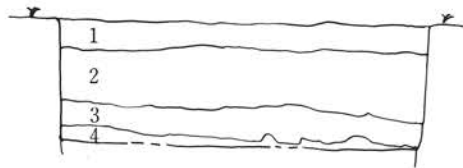


6. 断面実測図 (1 T-3 ~ 3 T-7)

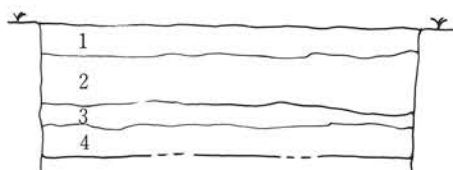


7. 断面実測図 (4 T-1 ~ 5 T-7)

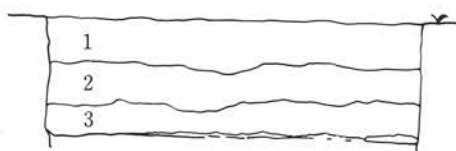
4 T-1 (E)



4 T-3 (E)



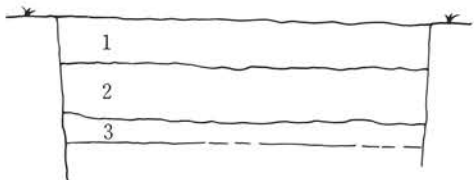
4 T-5 (E)



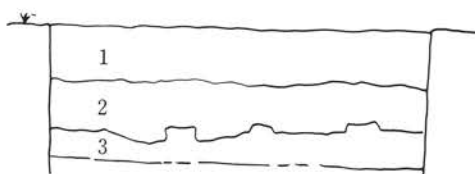
4 T-7 (E)



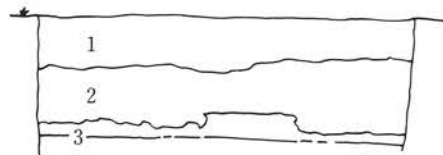
4 T-9 (E)



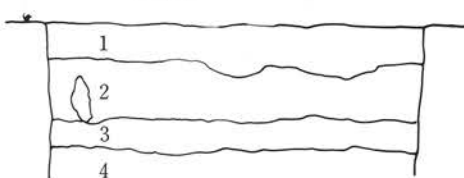
4 T-11 (E)



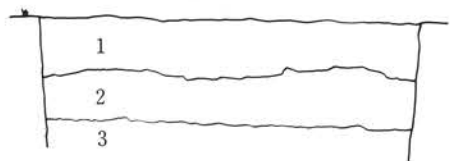
4 T-13 (E)



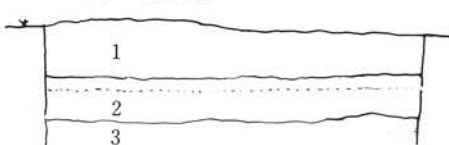
4 T-15 (E)



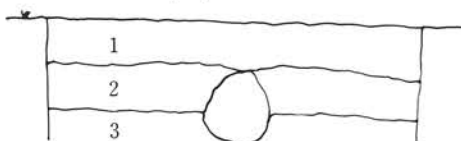
5 T-1 (N)



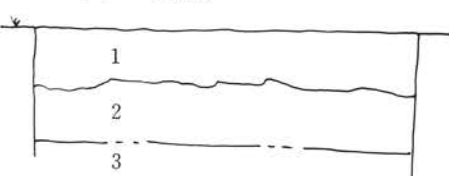
5 T-3 (N)



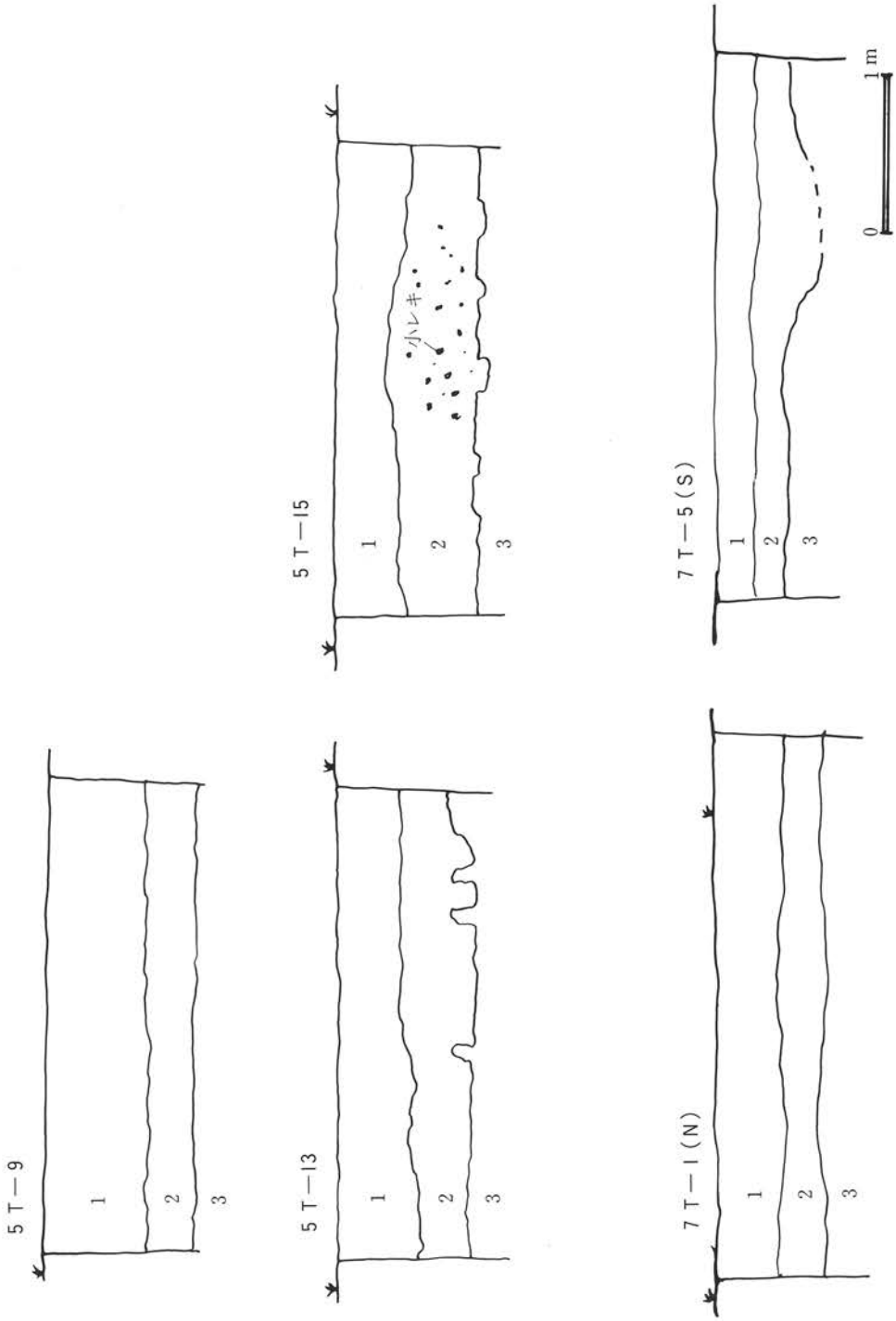
5 T-5 (S)



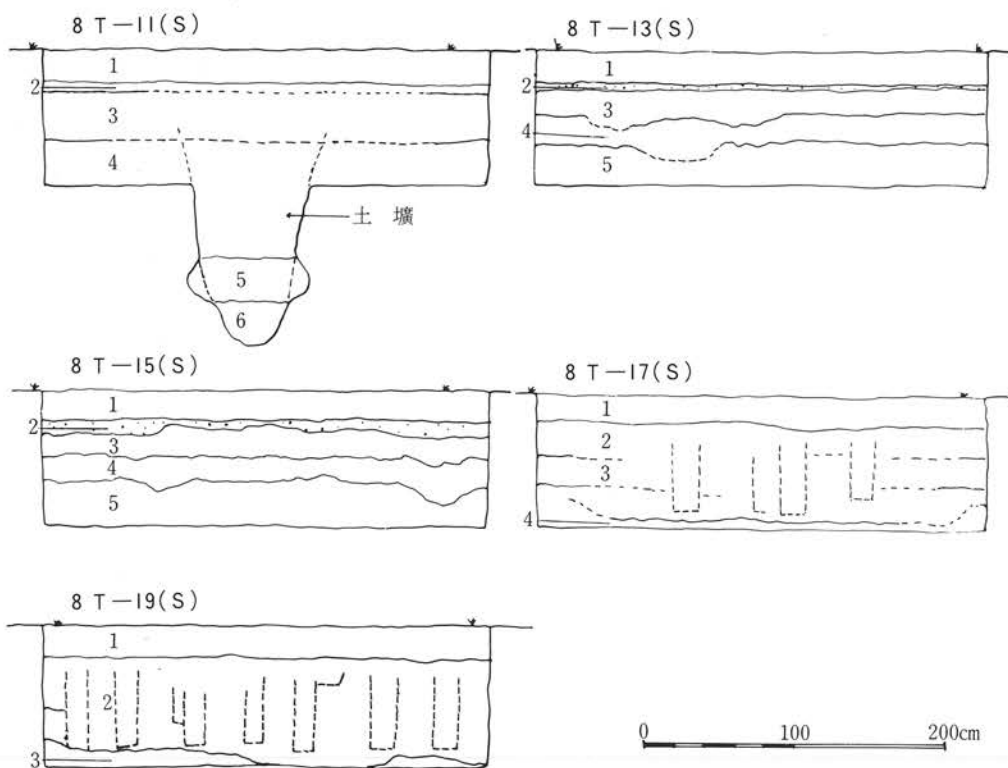
5 T-7 (N)



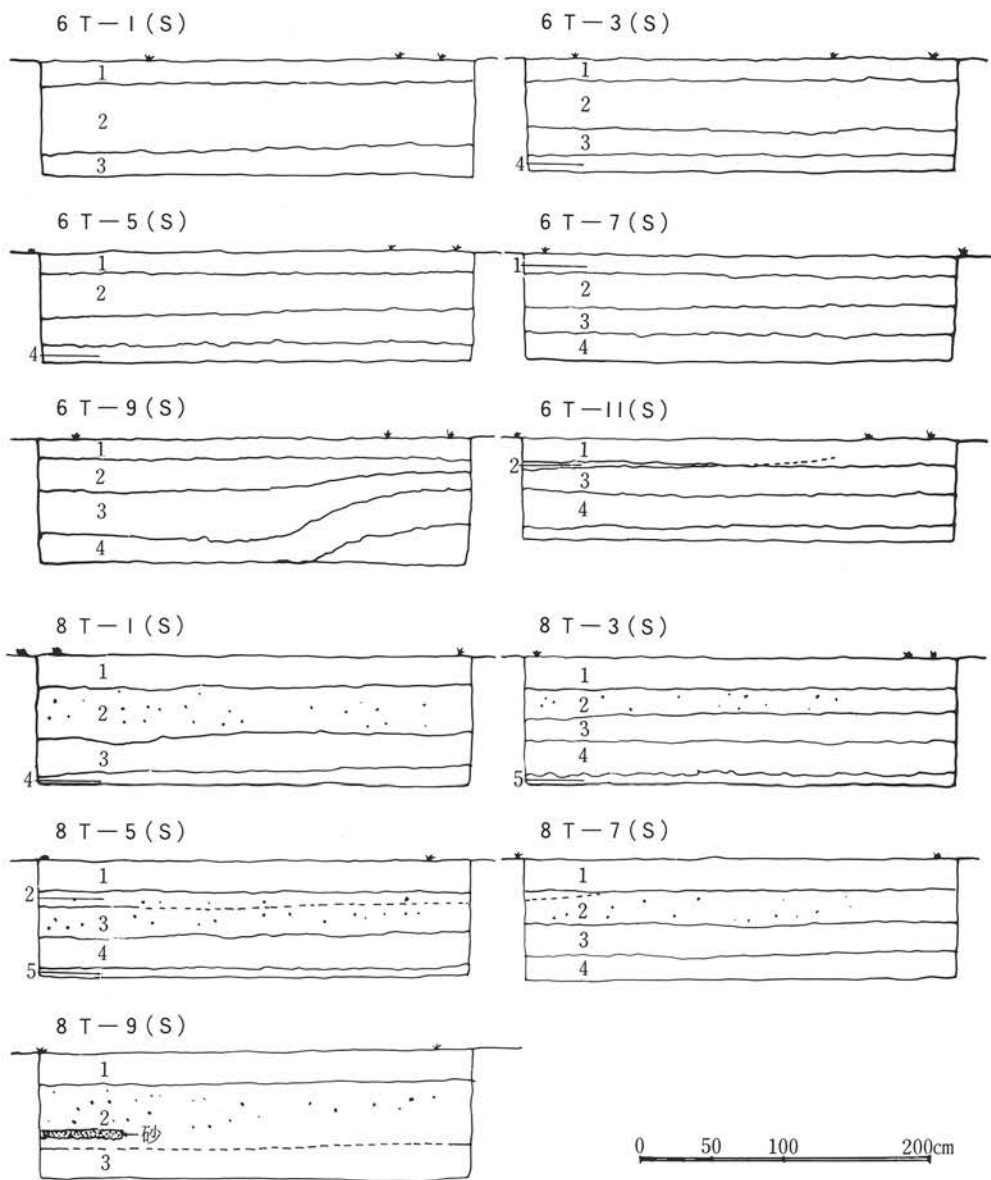
8. 断面実測図 (5 T-9 ~ 7 T-5)



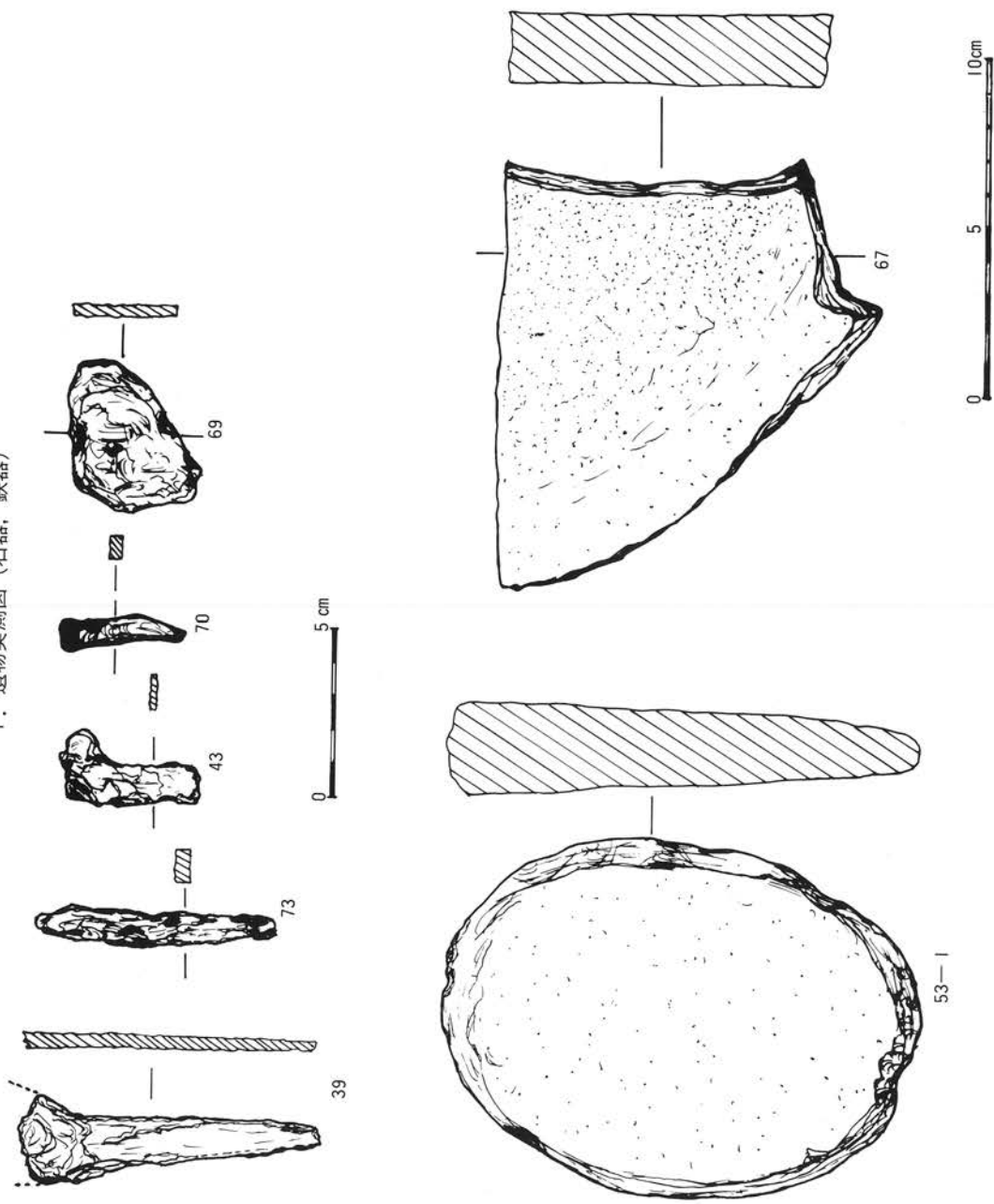
9. 断面実測図 (8 T-11~8 T-19)



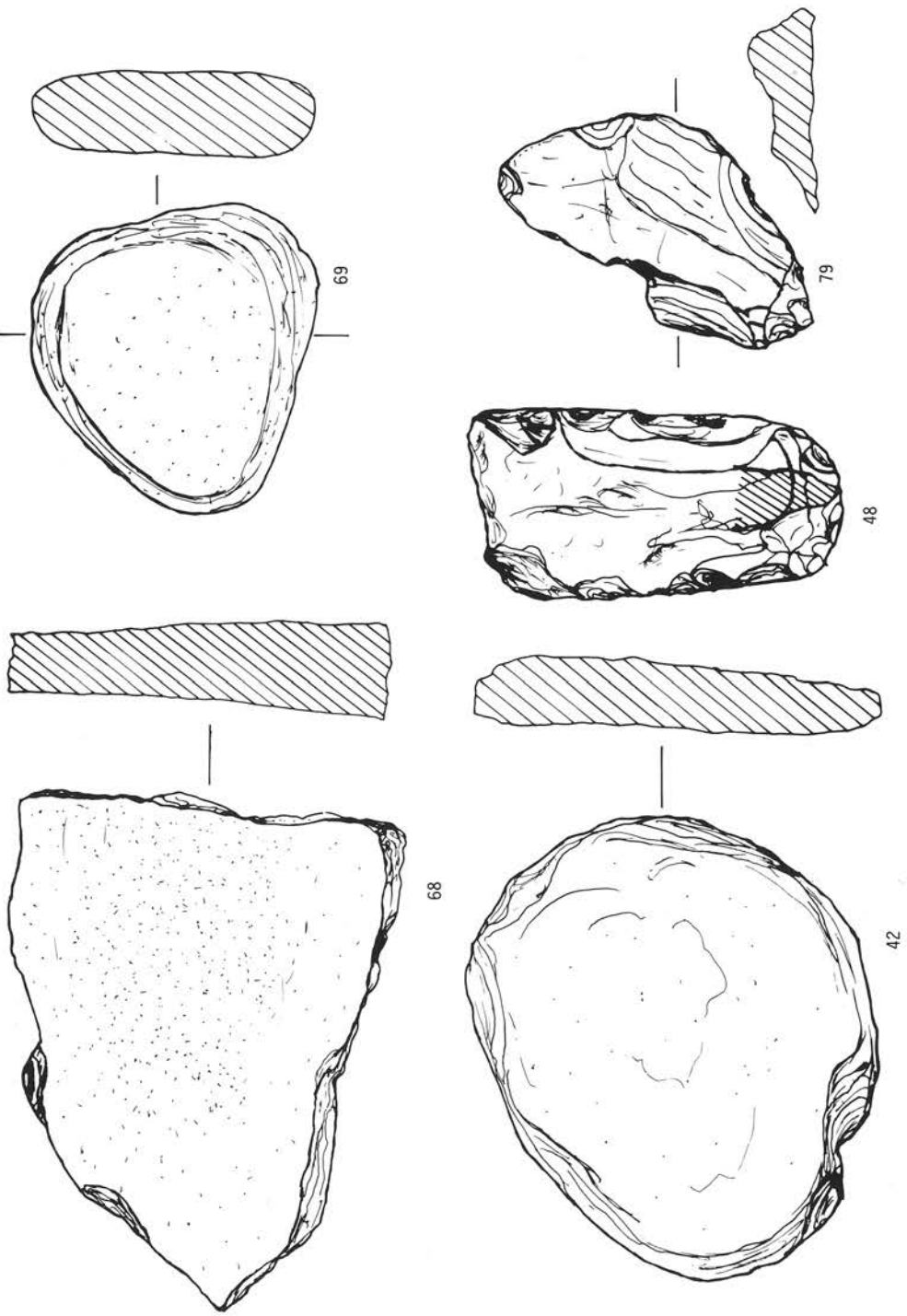
10. 断面実測図 (6 T-1 ~ 8 T-9)



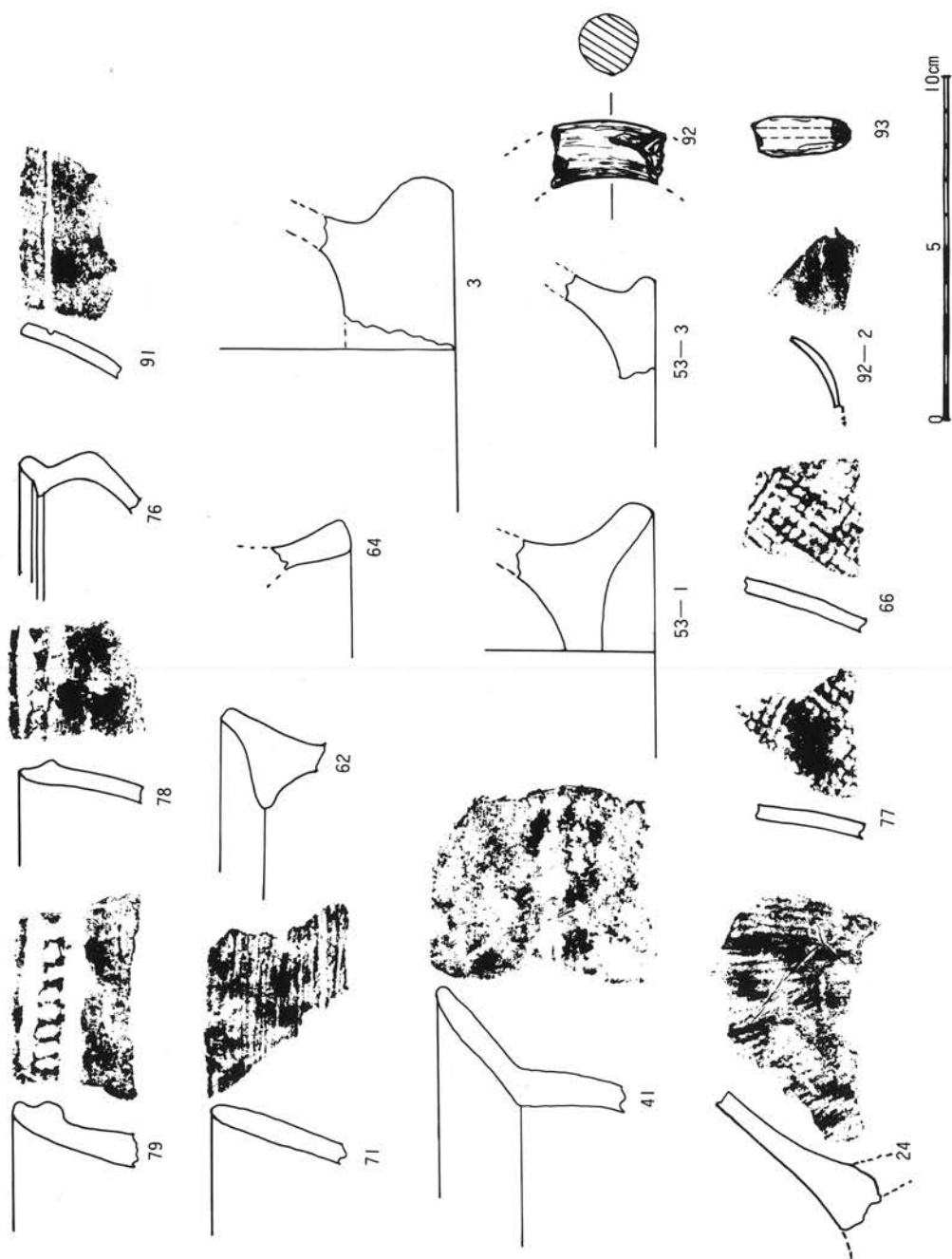
I. 遺物実測図 (石器, 鉄器)



2. 遺物実測図 (石器)



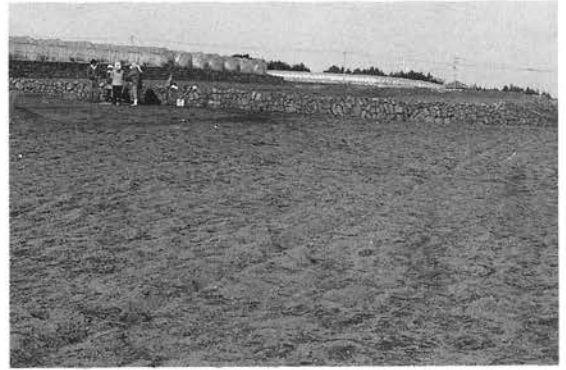
3. 遺物実測図 (土器)



1. 調査地風景写真図



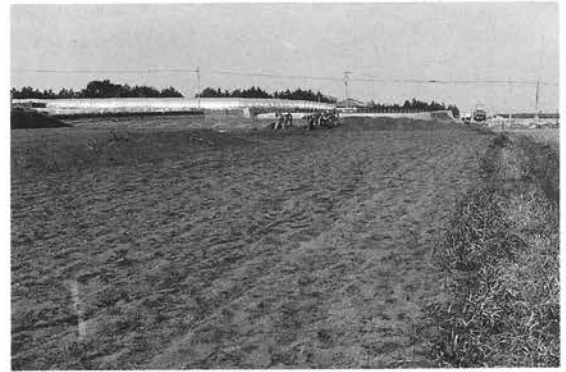
A 地点



B 地点



C 地点



C, D 地点



C 地点

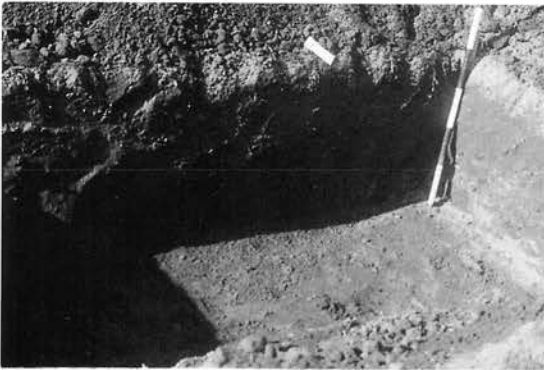
2. 各トレンチ断面地層写真図



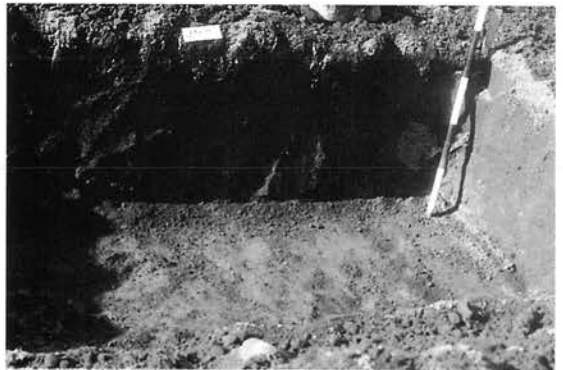
IT-1



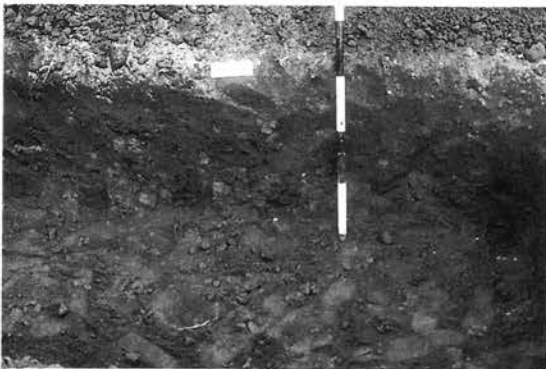
IT-3



IT-5



IT-7



2T-1



2T-3

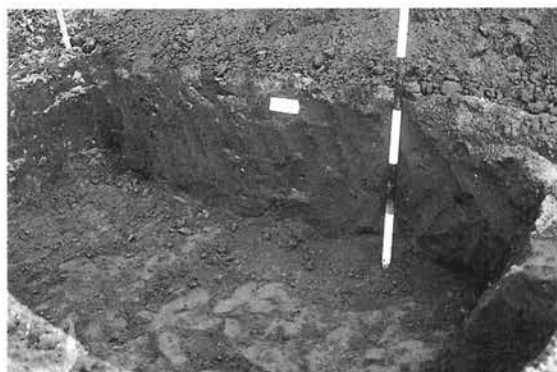
3. 各トレンチ断面地層写真図



2 T-9



2 T-7



3 T-1



3 T-3

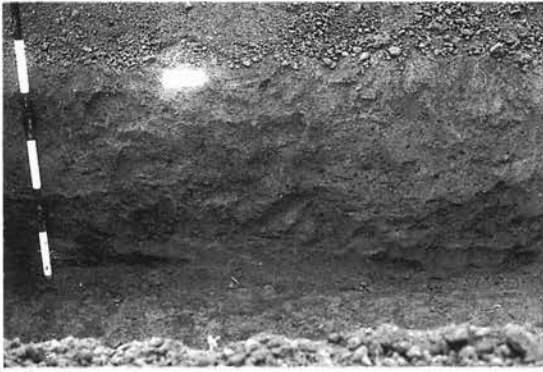


3 T-9



3 T-7

4. 各トレンチ断面地層写真図



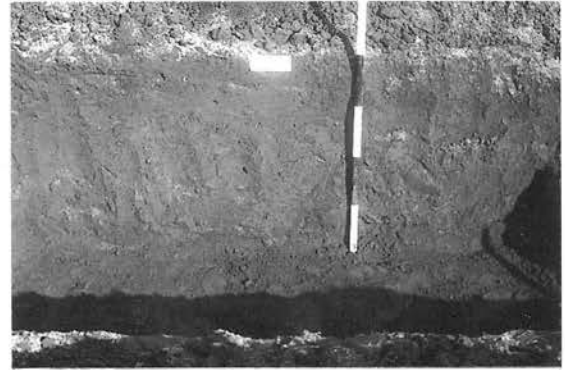
4 T-1



4 T-3



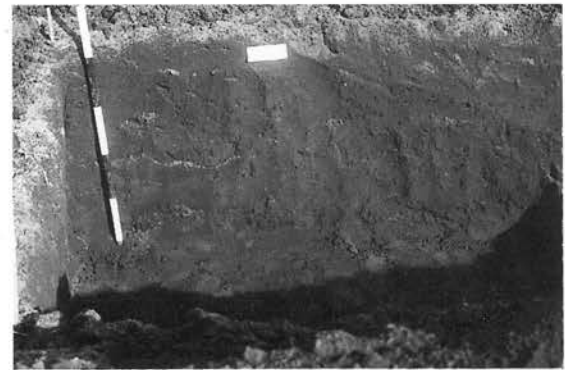
4 T-9



4 T-7

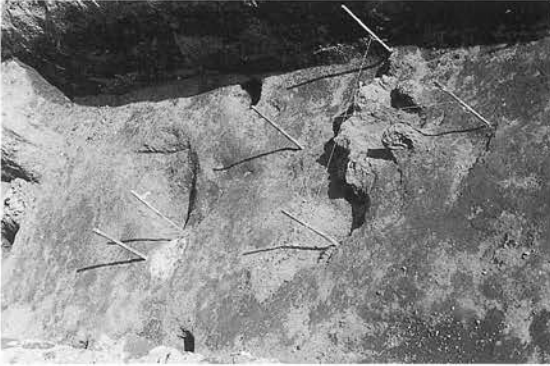


4 T-7



4 T-11

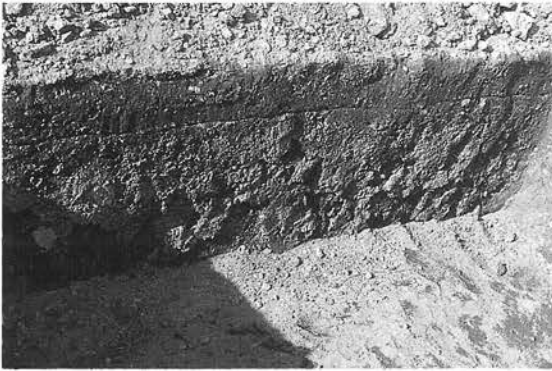
5. 各トレンチ断面地層写真図



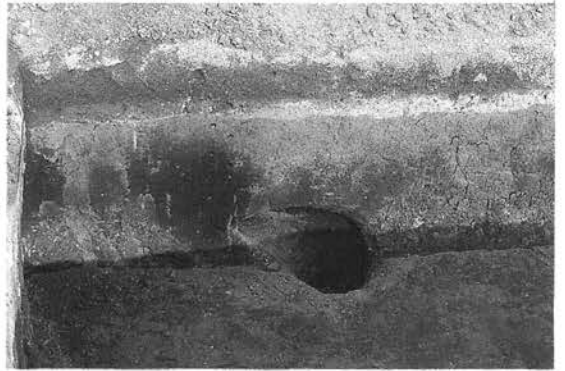
6 T-7



6 T-7



7 T-5



8 T-11

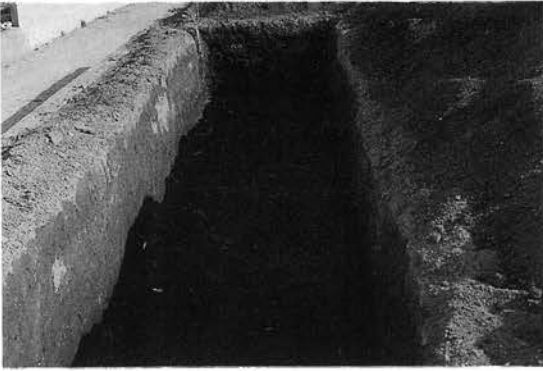


8 T-13



8 T-13 (N)

6. 各トレンチ断面地層写真図



8 T-20



8 T-20



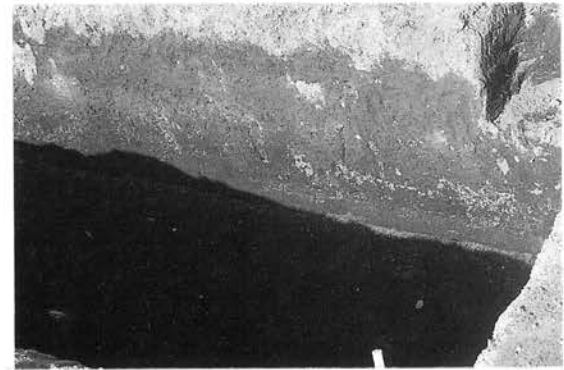
8 T-20



9 T-1



9 T-3 (N)



9 T-9 (N)

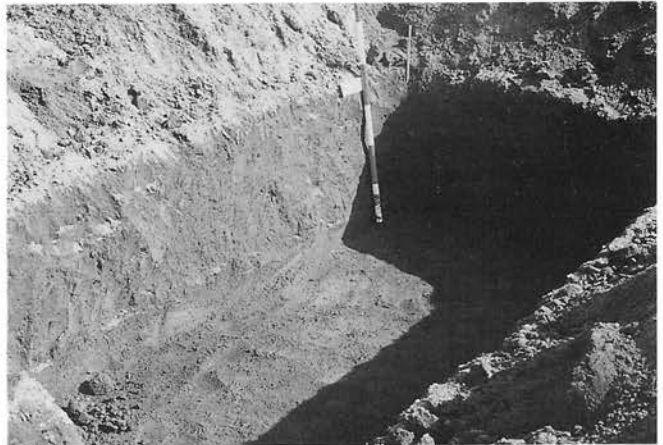
7. 各トレンチ断面地層写真図



6 T-1 (S)



6 T-1 (S)



6 T-3 (S)



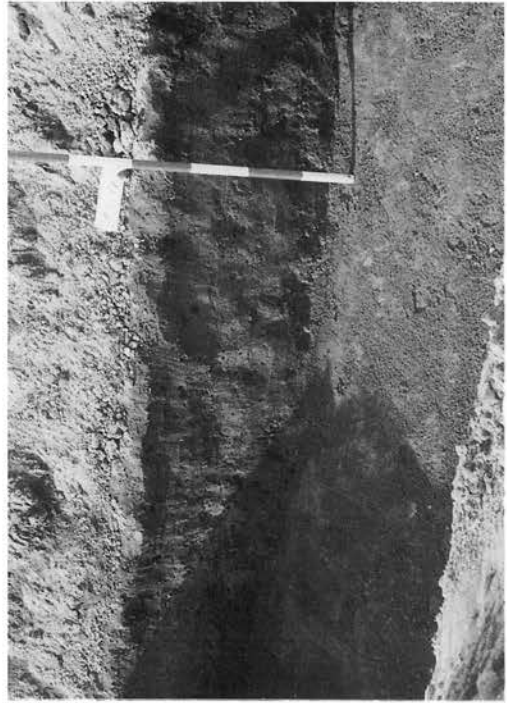
6 T-3 (S)



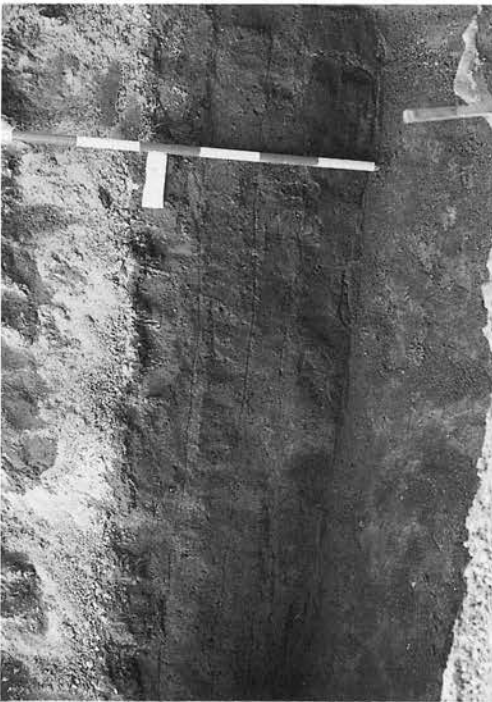
6 T-4 (S)



6 T-7 (N)



6 T-II (S)



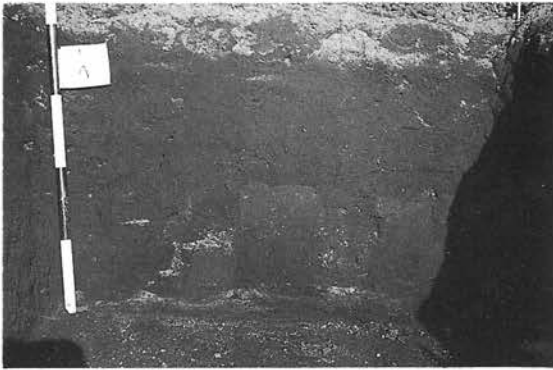
6 T-7 (S)



6 T-9 (S)

八、各トレンチ断面地層写真図

9. 各トレンチ断面地層写真図



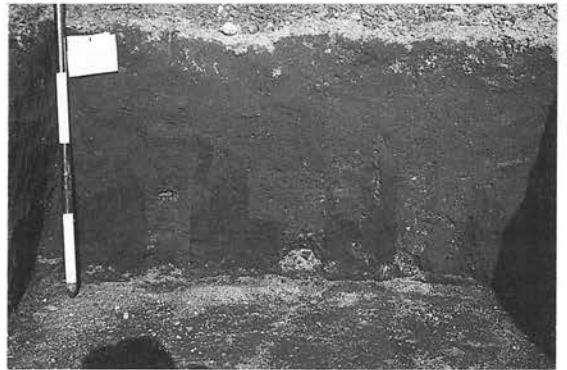
8 T-1



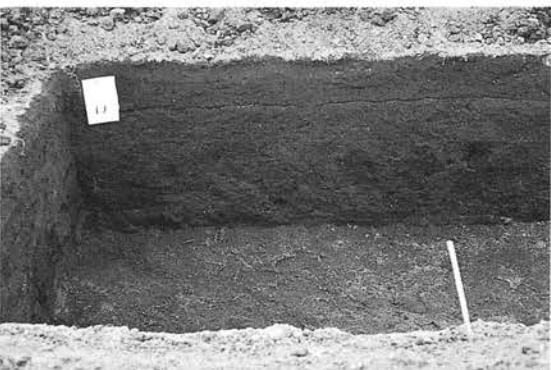
8 T-3



8 T-3



8 T-5

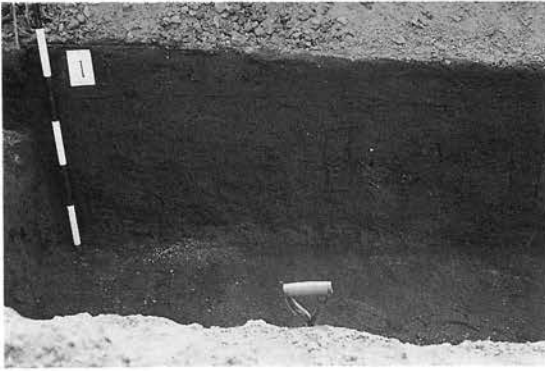


8 T-7



8 T-7

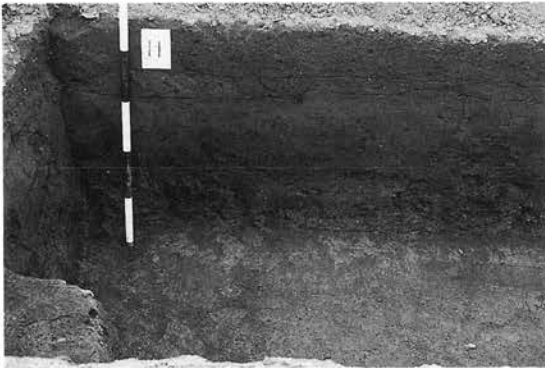
10. 各トレンチ断面地層写真図



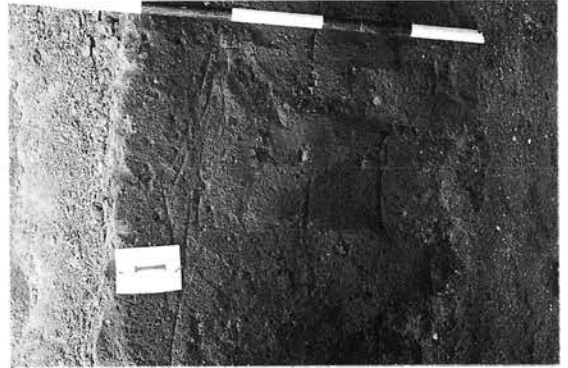
8 T-11



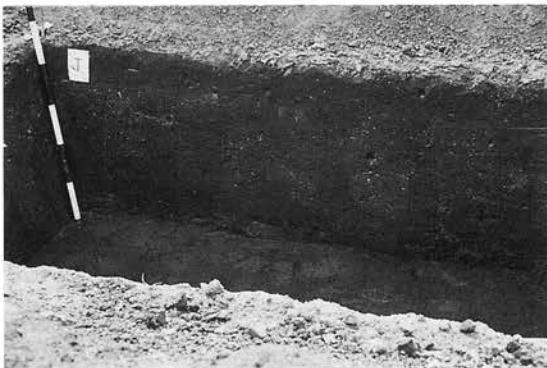
8 T-13



8 T-15

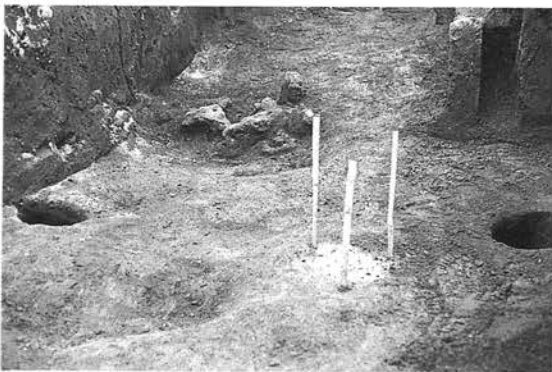


8 T-17



8 T-19

II. 6 トレンチ7の住居跡遺構写真図



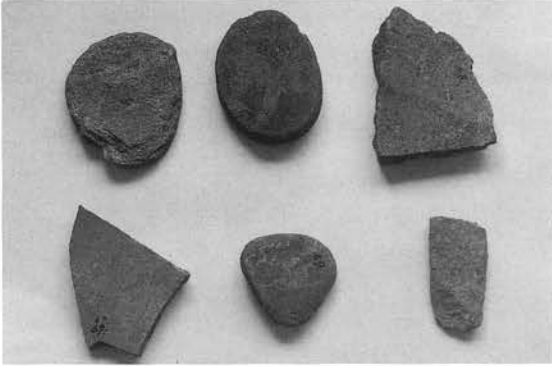
12. 7トレンチ3の遺構写真図



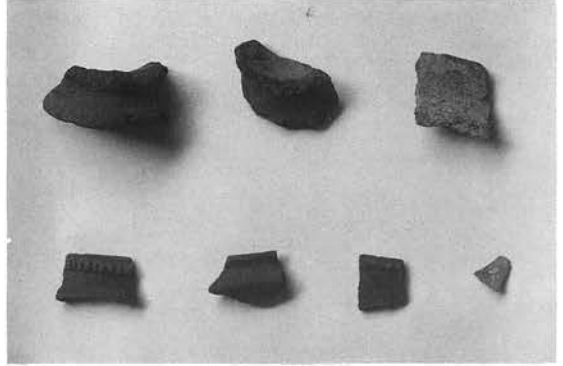
13. 8トレンチIIの遺構写真図



14. 遺物写真図



42 53-1 68
67 69 48



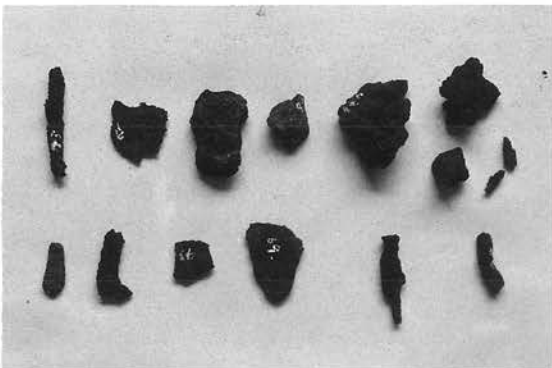
3 53-1 41
75 76 78 92



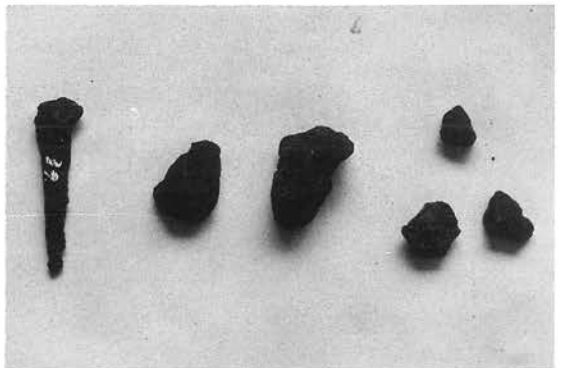
53-3 43 92 91 24
71 62 64 66 77



79 42-2 53-2
64



53 72 56 90 423
0 43 43 69 70



39

広域北部地区埋蔵文化財発掘調査概報

(灰の久保遺跡)

昭和63年3月発行

発行所 有明町教育委員会

〒859-14 長崎県南高来郡有明町大三東戊1438-1

TEL (0957) 68-1101

印刷所 昭和堂印刷

長崎県諫早市長野町 1007

